

第2回課題検討会における主な意見等

令和2年12月11日
秋田県商工会連合会

1 持続的発展が可能な組織・運営検討会【令和2年11月16日(月)】

重点課題	取組内容	主な意見等
(1) 効果的な商工会組織機構のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者にわかりやすい機構や職名の整備 ・質の高い支援を行うための支所統合の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構や職名は統一した方が良いが、地域性を活かしたものがあっても良い。 ・支所地区の役員を地域の相談窓口として活用すべきである。 ・支所統廃合を進めて支援体制を強化することが必要である。
(2) 新たな商工会連携のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援機能の強化を実現するための商工会連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアを超えた事業や業務連携を考えるべきである。 ・県連主導による働き掛けを行うべきである。
(3) 期待される役員と役員会機能のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材登用による役員会機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔とは違う認識が必要であり、役員としての責任を自覚し資質を高める努力が必要である。 ・役員は地区バランスより業種と人物重視で選ぶべきである。

2 将来を見据えた戦略的な施策検討会【令和2年11月13日(金)】

重点課題	取組内容	主な意見等
(1) 10年先を見据えたこれからの商工会事業のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の地域経済を牽引していく企業の育成強化 ・地域社会を支える新たな事業の研究 ・地域経済に効果をもたらすICTの活用強化 ・地域の魅力を活かす起業家の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における中堅企業を育成することは必要であり、商工会がどう支援していくかが重要である。 ・地域社会を支える事業は、事業者と住民の双方に利益がもたらされるよう進めるべきである。 ・ICT活用の必要性を強く感じる。地域にIT企業を作ったり、招いたりするなどの対策が必要である。
(2) 事業者間連携・事業者グループによる事業促進のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・市場競争を勝ち抜く事業者間連携の推進 ・デジタル技術を用いた事業者間連携の促進 ・事業者グループによる多様な連携の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは連携しないと生き残っていけない。個々の事業者だけでなく、連携体全体の価値向上が重要である。 ・連携には、課題の共有と共通した目的が必要である。

3 次代を担うプロ職員育成検討会【令和2年11月12日(木)】

重点課題	取組内容	主な意見等
(1) 現場で力を発揮できる職員育成のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員の実践力を身につけるための取組 ・専門性の高い支援人材を育成する取組 ・他機関との連携に向けた職員全体の底上げの取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で教えるだけでは伝わらない。人と交わる機会を増やすことで気づきを促す。 ・専門的な共通人材を各ブロックに配置し、インセンティブを与える。 ・他機関との交換交流や、支援員を交えたチーム支援体制を確立し、職場全体の意欲を刺激する。
(2) 将来を担う人材育成のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員のやる気を醸成するための取組 ・職員の能力を最大限活用するための職場環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を楽しむ組織風土と、インセンティブとして個人・組織を競争させる仕組みが必要である。 ・業務実態に合わせて、リモートワーク等に適した仕事を検討する。